

光と緑の風通信

発行/2012年10月5日 編集/福島県立医科大学看護学部 〒960-1295 福島市光が丘1番地 Tel.024-547-1111 (代)



夢の実現に向けて

学部長 鈴木 順造

ご入学おめでとうございます。看護学部教職員一同、皆さんの入学を心から歓迎いたします。私たち教職員は、皆さんそれぞれが描いている夢の実現のために、あらゆる面で応援いたします。

大学に入るといことは、生徒から学生になることです。学生は、「学問をする者」を意味しており、知識や技術を蓄積するだけではありません。自ら問いを見つけ、問題を解決する方法を学び、答えを創り出さなければなりません。大学は待つていは何もおこらないところで、主体的に、常に思考し、まわりのものからすべてを吸収するのだという、貪欲な姿勢で、学生時代というかけがえのない時間を、一瞬たりとも無駄にすることなく、濃密に過ごされる

ことを望みます。

人間は考える葦であるといったパスカルを言い換えて、脳科学研究者の川島隆太先生は、人間は脳の前頭前野が発達した動物であるということを行いました。この領域はヒトの複雑な認知行動の計画、人格の発現、適切な社会的行動の調節に関わっているとされています。この脳領域の成長率が最も高い時期が学生時代であり、人生で自分の能力がもつとも伸びる時期だということを自覚しておいてほしいと思います。

皆さん、時代の新しい動向を肌で感じとりながら、その実現に向けて、多くのことを学んでください。そして、自らの「学問」を完成させ、世界を舞台に活躍してほしいと、切望いたします。

(すずき じゅんぞう)

For The Future



私たちが、安心できる故郷と看護・保健・医療を担います

3・11被災者の皆様。復旧・復興のご苦勞に感謝します。
震災後1年、故郷を守るために困難に耐え、一生懸命生きてきてくださいました。
私たちは被災者の熱い思いを引き継ぎ、看護・保健・医療に貢献して安心できる故郷と
なすことを目指します。
2012.4 福島県立医科大学看護学部入学生一同

学部生♥89名

秋好 里南
私は多くの人の交流を通して充実した毎日を送っている。その中でも「コミュニケーション」を学ぶことに興味を覚えている。しかし、それが逆に楽しい自己開示ができて、他者の個性を引き出せる人になりたい。

阿部 結花
国家試験合格を目標に、初心を忘れずに頑張ってきた。また、学校生活において部活などを通して人間関係も学んでいきたい。

天野 優希
新しい環境にも慣れ始めた。今日この頃、新しく学ぶ専門科目はとも興味深い。もはや、自分自身が何を大切に、同じ目標を持つ仲間と共に、自分のなりたい看護師像を目指して切磋琢磨していきたい。

荒木 優治
入学して3ヶ月が経ちます。大学の講義密度は非常に高く医療を学ぶ上で環境は整っています。志を持っては相応の努力は必要です。今後の実習に向けても目標、志を持って日々を過ごしていきたい。

安藤 牙香
大学生活が始まって4ヶ月たち、勉強と部活で充実した日々を送っています。毎日少しずつ努力を重ね、立派な看護師になれるように頑張りたいと思います。

五十嵐 純香
大学生活を楽しみ、理想の看護師になれるようがんばりたいと思います。

五十嵐 瑞穂
大学に入学し、自分で考える授業が多くなった。特に看護についてアノカシムをする授業では、考えの視野を広げられ充実している。今後もこのような授業で看護に対する考えをより深めていきたい。

五十嵐 由子
入学して3ヶ月が経ち、ようやく学校生活に慣れた。新しい人々たちと共に楽しく日々を過ごしています。大学の勉強は自分の力でやる機会も多く、決して簡単ではありませんが、将来の福島の医療を支える医療人を目指して日々努力していきます。

猪狩 菜耶
この大学に入学して3ヶ月がたった。看護師を目指すというこの重みを感じています。様々な授業を受け、医療の現場で働くにはどのようなことを知り改め、知識を引き締めなくてはならないと思います。

生田 亜也華
入学して3ヶ月が経ちましたが、県立医科大学で、毎日の高い授業を受けられることをとても嬉しく誇りに思っています。将来、ここで学んだ知識を活かし、優秀な看護師となり、福島県のために尽力したいと思います。

生方 幸奈
入学して3ヶ月が経ちました。大学生活にも慣れ、この夢であった看護師への第一歩を踏み出せたような気がします。理想の看護師像に少しでも近づけるように、何事にも妥協せず取り組んでいきたいです。

大内 有紀
すでに目標に達した福島県立医科大学に入学して、本当に充実した日々を送っています。これからこの命に関わるという責任感を持ち、看護の専門知識を身につけるために生懸命勉強に励みたいと思います。

大河原 葵
憧れの福島県立医科大学に入学。自分のなりたいと思う看護師になるべく勉強に励み、充実した4年間を過ごしていきたいと思っています。

大島 眞咲
看護師の役割や重要性を理解始めた。患者さんだけでなく、家族やその周りの人達も含めて気を配れる。様々なことに気づける看護師になりたいと思います。講義を通してその辺りについて成長していきたいです。

小川 あやめ
この大学は専門学校、他大学より高度なレベルの教育が受けられ、素直な先生方や先輩方、友人に恵まれた場所です。これからこの環境を活かして、自分の可能性を最大限に伸ばしていきたいです。

小貴 朋子
大学生活を存分に楽しむことはもちろん、しっかりと勉強して自分の目指す看護師になれるよう努力したいと思っています。さまざまなことに積極的に取り組み、充実した4年間を送りたいと思います。

小野 綾子
より良い医療従事者になれるように、そしてこれからの福島を支えていけるように、たくさんこのことを学んで吸収して、充実した4年間にしたいと思っています。

加井 千聡
これから経験する様々なことを大事にして、大学生活を過ごしていきたいと思っています。そして将来は福島の医療に貢献していきたいです。

影山 彩夏
大学生活にまだ慣れない。共通の目標を持った仲間と過ごす。たくさんの刺激を受けています。今は座学がほとんどですが、秋には実習も入ってきます。不安も多いため、積極的に勉強に励みたいと思っています。

金谷 優希
大学生活に慣れ、充実した毎日を送っています。入学してから、自分の中で看護とは何か少しづつ形になっていくのを感じています。素直な看護師になれるように、日々学んでいきたいと思っています。

鹿又 美琴
私は大学に入学してから、勉強に追われる日々を送っています。しかし、自分から学びたいことを求めている。将来に思い、将来医療従事者として働くことを目指し、この先も頑張りたいと思います。

黒崎 友理恵
応援してくれる両親の感謝の気持ちを忘れず、素晴らしい先生方の講義で多くのことを吸収して立派な看護師になりたいです。

黒崎 友理恵
応援してくれる両親の感謝の気持ちを忘れず、素晴らしい先生方の講義で多くのことを吸収して立派な看護師になりたいです。

小林 亜利沙
入学してから3ヶ月が経ちました。今は毎日忙しく充実した日々を送っています。私は地元復興に貢献できるような看護師になりたいと思っています。これからこの夢に向かって日々努力していきたいです。

近藤 麻衣子
医療の一員を志し、本学に入学して4ヶ月が経ちました。今後、専門分野の学習に入ると難易度が高くなると思いますが、やりがえを感じ、信頼される医療人の一員となるよう学習に励みたいと思っています。

西 菜
私はこの大学に入学して、高い志を持って勉学実習に励み先立や切磋琢磨し合える友人と出会い、将来に誇りを持って看護師が明確になってきました。これから自分自身に挑戦し、努力を続けていきたいと思います。

斎藤 玲美
すこすこ憧れていた福島医大に入学できてとても嬉しく思っています。これから4年間でたくさんこのことを学び、自分の理想とする看護師になれるよう日々努力していきたいと思っています。

佐々木 瑠璃
福島県立医科大学の看護学部へ入学し、改めて「看護」という言葉の意味を改めて感じています。これから4年間でたくさんこのことを学び、自分の理想とする看護師になれるよう日々努力していきたいと思っています。

佐藤 飛鳥
先生方や先輩方からお話を聞くと、看護の楽しさや厳しさが見えてきます。入学して、看護職に就くんだという覚悟も強くなりました。一生懸命勉強し、さまざまな活動を通して成長していきたいと思っています。

佐藤 健斗
現在は新しい仲間と素晴らしい教授と共に楽しい大学生活を送っています。今後、発展として、前期ではできなかった自ら自ら学習することを実践していき、医師に負けず看護師を目指して頑張ります。

佐藤 詩織
4月入学から4ヶ月が経ち、福島医大に入学して喜びをかみしめています。生半か育ちも運も多くの人が出会うことができて、自分自身も成長しています。今後は座学だけでなく、自分自身も成長していきたいと思っています。

佐藤 まどか
昨年の東日本大震災による原発の問題を抱え福島県は、更なる医療従事者不足に悩んでおり、そのために地元福島は、看護技術に加えて放射線などの知識も備えた福島県に、地域医療はかかっていると思っています。

高屋 薫乃
半年経ち一人暮らしにも慣れ、部活やバイトなど新しいことが始められ充実した生活を送っています。まだ実習もなく、看護生としての実感は少ないですが、理想の看護師になれるよう日々努力していきたいと思っています。

高屋 薫乃
半年経ち一人暮らしにも慣れ、部活やバイトなど新しいことが始められ充実した生活を送っています。まだ実習もなく、看護生としての実感は少ないですが、理想の看護師になれるよう日々努力していきたいと思っています。

多田 ももこ
再び学生として学ぶことに感謝し、4年間という時間の中で、患者様にとってのよい看護とはどのようなものかを自分の中で答えが出せるように、一日を大切にしながら学んでいきたいと思っています。

田部 貴美恵
私は人体解剖生理学の授業で顕微鏡で細胞の観察をしたことが印象的です。このことは本学だからこそできるのだと思います。これからも大学でしか学べないことに積極的に取り組んでいきたいと思っています。

丹野 美和子
大学に入学して3ヶ月が過ぎました。大学に入学するのと同じく、入学し始めて、初めは不安定でしたが今は新しい環境にも慣れ、忙しなく充実した毎日を送っています。勉強は大変ですが色々と挑戦して大学生活を楽しみたいと思います。

田部 貴美恵
私は人体解剖生理学の授業で顕微鏡で細胞の観察をしたことが印象的です。このことは本学だからこそできるのだと思います。これからも大学でしか学べないことに積極的に取り組んでいきたいと思っています。

中澤 光香
私は将来、癌で苦しむ患者さんをより専門的に看護する。福島の看護士になりたいです。その目標に向かって福島県立医科大学で勉強し、頑張りたいと思います。

根本 ひかり
入学して3ヶ月が経ち、現在はとも充実した日々を送っています。今後は学校での活動を通して、自分の目指す看護についての考えをより深めていきたいと思います。

丹野 美和子
大学に入学して3ヶ月が過ぎました。大学に入学するのと同じく、入学し始めて、初めは不安定でしたが今は新しい環境にも慣れ、忙しなく充実した毎日を送っています。勉強は大変ですが色々と挑戦して大学生活を楽しみたいと思います。

田部 貴美恵
私は人体解剖生理学の授業で顕微鏡で細胞の観察をしたことが印象的です。このことは本学だからこそできるのだと思います。これからも大学でしか学べないことに積極的に取り組んでいきたいと思っています。

丹野 美和子
大学に入学して3ヶ月が過ぎました。大学に入学するのと同じく、入学し始めて、初めは不安定でしたが今は新しい環境にも慣れ、忙しなく充実した毎日を送っています。勉強は大変ですが色々と挑戦して大学生活を楽しみたいと思います。

渡部 遥香
この大学で自分から持ち、理想の看護師像というものを学ぶうちに、そうなるように邁進していきたいと思っています。

渡部 遥香
この大学で自分から持ち、理想の看護師像というものを学ぶうちに、そうなるように邁進していきたいと思っています。

渡部 遥香
この大学で自分から持ち、理想の看護師像というものを学ぶうちに、そうなるように邁進していきたいと思っています。

渡部 遥香
この大学で自分から持ち、理想の看護師像というものを学ぶうちに、そうなるように邁進していきたいと思っています。

渡部 遥香
この大学で自分から持ち、理想の看護師像というものを学ぶうちに、そうなるように邁進していきたいと思っています。

渡部 遥香
この大学で自分から持ち、理想の看護師像というものを学ぶうちに、そうなるように邁進していきたいと思っています。

渡部 遥香
この大学で自分から持ち、理想の看護師像というものを学ぶうちに、そうなるように邁進していきたいと思っています。

渡部 遥香
この大学で自分から持ち、理想の看護師像というものを学ぶうちに、そうなるように邁進していきたいと思っています。

渡部 遥香
この大学で自分から持ち、理想の看護師像というものを学ぶうちに、そうなるように邁進していきたいと思っています。

渡部 遥香
この大学で自分から持ち、理想の看護師像というものを学ぶうちに、そうなるように邁進していきたいと思っています。

渡部 遥香
この大学で自分から持ち、理想の看護師像というものを学ぶうちに、そうなるように邁進していきたいと思っています。

編入3年生♥6名

猪狩 奈津希
入学して3ヶ月が経ち、新しい環境で新たな友人ができて、看護学を学んでいます。今後の2年間は、患者を多方面からみることで看護士としての成長を遂げたいと思います。

岡部 美幸
入学して3ヶ月が経ち、講義の中で、病棟の環境を学ぶことが出来て、とても感じています。今後、実習などを通して、今の看護と何が違うのかを患者さんや地域の方々のコミュニケーションの中で学びたいと思います。

佐藤 舞衣
4月に入学して、日々自分の知識不足を実感しています。大学は意欲があればいくらでも学ぶことが出来る環境です。受け身ではなく自分の学びたいことをしっかりと吸収して、2年間にしたいと思っています。

渡部 友紀子
私は、研究の基礎を学びたいと思い編入しました。大学に入学し、専門的な講義を受け充実した日々を送っています。今後も、周りから良い刺激を受けながら成長できるよう努力していきます。

大学院生♣9名

大森 あゆみ
大学院生としての難しさを痛感しながら、学び続けるこの面白さや大切さを実感しています。目の前の患者様に、今何が出来るのか、日々学びを深めていきたいと思います。

小林 里美
臨床経験10数年になり、看護の知識を深く深めたいと強い思いで、大学院に足を踏み入れた。臨床と大学院の両立は、新しい知識が得られること、学ぶことの楽しさを実感しています。時間をかけ細々と勉強に励みたいと思っています。

齋藤 史子
Dreamと書いて目標と読む私が大好きな風の歌の歌詞である。大学院に入学し、専門職としての看護師とは何かを考えた。これからは、看護士として何を描いていきたいかを考えていきたい。

佐藤 美由紀
早い段階で入学し3ヶ月経過しましたが、授業と仕事で忙しなく、あっという間に時間が過ぎていきます。学んだことを現場で活かせるように、そして、精神看護に高年齢者を深めたいと思っています。

清野 弘子
看護の対象になるの生活に添った看護を展開していきたく、ために学び続けたい。特に、現在の福島で看護を学ぶ意味を常に問いながら、そのことが「つらくなる」ような実践にしていきたい。

遠山 恵美子
緊張の入学から3ヶ月が過ぎ、現在は仕事と学業の両立に右往左往しているのが現実です。それでも、大学で過ごす時間は貴重で、色々な刺激を受け、自分の目標に向かっていこうと思いを深めています。



母性看護学・助産学部門
須藤 久実

教育・研究にかかる抱負

4月に母性看護学・助産学部門の助教として着任いたしました。臨床では、主にNICUの看護を実践してきました。研究テーマは、主

に早産で低出生体重児を出産した母親の出産体験や母親意識です。今後、このテーマに関わる研究に取り組み、より深めていきたいと考えております。教育者として、はまだまだ未熟者ですが、努力を惜しまず日々研鑽し、学生さんと共に考え、悩み、一歩一歩成長していきたいと思っております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

(すとう くみ)

私の生きる道

基礎看護学部門
安藤 真美

基礎看護学部門の教員として4月より勤務しております。出身は須賀川市です。免許証はゴールドですが、10年ぶりの



自動車通勤にどきどきしています。狭い駐車場で何度も切り返しながらバックしている緑色を見かけたら、優しく見守ってください。

教員としての目標は、私が学生と関わること

により、その学生が看護に対してより強く魅力を感じてくれるようになることです。少しでも長く看護職者でいてくれるように学生と関わり、そのような学生が一人でも増えてくれることを願っています。そして、遂にはその中の誰かが教員として大学に戻って来てくれることも楽しみにしています。そのためにも、私自身が看護を楽しく看護学教育を楽しみ、研究も含めてこの仕事を楽しくしたいと思います。

福島市に住み始めたばかりのため未熟者ですが、この土地で生き生きと開拓していきたいと思っています。

(あんどう まゆみ)

福島市杉妻町から昭和62年にこの光が丘に大学と付属病院が移転したその時は、附属病院で看護師として働いておりました。その時の光が丘は、周囲に何もありませんでした。その後、蓬萊の東へ西へと住宅が林立し、コンビニが出来、最近では大学の駐車場も整備され、それでも足りないのか、ドクターヘリが設置され、院内学内にコンビニが入り、カフェテラスが出来、桜並木が見事に咲き誇り、数々の変化がありました。変わらないのは、窓から見える吾妻小富士、安達太良山、遠景に蔵王、山々の緑と空の青さ、雲の白さのコントラストです。この二十数年の間に、様々な変化がありました。今は少なくとも、私自身が経験してきたこと、学んできたことを少しでも伝えたい、そして一緒に学んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

(わきや ゆみ)



療養支援看護学部門(成人看護学)
脇屋 友美子

ふたたび、光が丘へ



療養支援看護学部門(成人看護学)
中島 淑恵

宜しくお願ひします

4月から療養支援看護学部門(成人看護学)に着任いたしました。大自然の景観を堪能しながら



療養支援看護学部門(成人看護学)
有永 洋子

はじめまして！

皆さん、はじめまして。4月に着任致しました有永と申します。



療養支援看護学部門(成人看護学)
根本 紀子

はじめまして

今年4月から、療養支援看護学部門(成人)に着任いたしました。

ら通勤する状況にも漸く慣れてきました。福島県立医大で学ぶ皆さんは、真直ぐで知的な雰囲気あり、やりとりの中でも日々感動しています。今後は、教員として一人ひとりが持つ感性と能力を、最大限引き出せるような学習環境を構成していきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。ところで、学習や行動の強化には、何らかの動機が必要になると思えます。最近では、聴いてソクツとする音楽にはやる気スイッチをオンにする効果があるかもしれません。映画『羊たちの沈黙』でハンニバル・レクター博士が好むBachのゴールドベルグ変奏曲が私も大好きで、最近では景色を眺めながらこの曲を聴いてスイッチをオンにしています。皆さんも自分にピッタリの一曲を探してみたいかがでしょうか。

(なかじま よしこ)

鳥取、長崎、仙台、豪国と様々な土地に住んで参りましたが、福島は自然が豊かで美しい場所ですね。自動車免許のない私は毎日徒歩と自転車通勤しているのですが、道を渡るだんごむしによく出会います。看護師としての臨床経験は14年で、内科系、外科系、緩和ケアを経験して参りました。臨床が大好きで、一生一看護師として生きていくと思っておりましたが、御縁があり、2年前に看護教育の世界に足を踏み入れました。

福島県双葉郡の出身です。高校卒業後は、県外の大学に進学したのを機に地元を離れましたが、約十数年ぶりに福島県での生活を始めました。同じ県内ではありますが、福島市内で生活を始めたばかりなので、カーナビがないと目的地に到着することができず、日々格闘しています。臨床では、主に消化器系の病棟で勤務しております。初めてのことでばかりですが、学生さんのことを第一に考え、自分のできることを一つひとつ丁寧に着実に進んでいくことを目標にしています。教員として、看護の面白さや難しさを言葉と行動で示し、学生さんと共に考えながら常に学び続けることができると、精一杯努力したいと思っています。

(ねもとのりこ)

実習の学び

基礎看護学実習を終えて

看護2年 一條 修也



この基礎看護学実習で私は様々なことを学ぶことができた。まず一つ目は「患者さんの話を聞き患者さんの状態や体調、ニーズに合わせた援助を行う」ということである。看護師さんが毎日患者さんの所へ行き、体調や状態などを確認

しており何か異常なことや変化があったらその状態に合わせた援助を行っていた。二つ目は、「看護では視野を広く持つことが大切である」ということである。一つ目にも関係しているが、患者さんの異常や変化に気づくためには、日ごろから視野を広げて援助を行わなければならないということだ。例えばいつも食事は残さないの、今日は残しているから体調がすぐれないのでは、という些細なことでも変化に気づくことがよりの確な援助を行うために大切なことだと学んだ。二週間というとても短い期間であったが、この先の看護の場で役に立つことを学ぶことができ、とても充実した実習であった。(いちじょう しゅうや)

地域看護学実習を通して学んだこと

看護4年 五ノ井 愛麗



私は地域看護学実習を通して大きく2つのことを学びました。まずは、地域性を捉えることの大切さです。地域の風土や習慣は住民の健康に大きく関わっていますし、地域の強みを生かすことで効果的な保健活動を展開できるのだ

と学びました。私が実習させていただいた昭和村では住民同士の強い結びつきが強みであり、住民同士で誘い合って事業に参加したり、互いに支援し合いながら活動に取り組む様子が見られました。次に連携の重要性です。保健活動の対象は幅広いため、他職種との連携「近隣町村との連携」「保健所との連携」といったように様々な人と協同しながら活動していくことが求められると感じました。地域住民の温かさや地域の風土に触れる中で保健師活動の魅力を感ずることができましたし、非常に充実した実習をすることができたと感じています。

(ごのい あいり)

基礎看護学実習を終えて

看護2年 緑川 里菜



基礎看護学実習において、一人のその人に向き合い、その人にとっての生活をみる中で、今まで日常生活を送っていたその人が入院生活をすることは、自分が思うような行動ができず不安や苦痛を伴うことを実感した。家に帰りたいとい

強い思いを分かち合い、そして日常生活動作を高めるリハビリに意欲的に取り組んでいった。日ごと手足の動作が良くなり、表情も生き生きと回復していく姿をみていく中で、大きな生命力に感動し、当たり前であった日常に近づいていくことの喜びを共に感じました。実習を通して、その人が望む生活をするためには、一人ひとりの思いに合わせた援助をするのが大切であることを学んだ。そのために、今後はさらに多くの知識と技術を身に付けていきたい。(みどりかわ りな)

家族看護学実習での学び

看護4年 若林 里美



私にとっての家族看護学実習は、自分の価値観を見つめ直すきっかけになったと感じている。実習は訪問看護ステーションで実施したが、カンファレンスで看護師さんや先生から助言を頂いて気付いたことがあった。

それは、自分の生きてきた家庭環境が自分の考える家族のイメージとなつていて、そして、家族のイメージは個人で異なるため、私自身の価値観を押し付けないように心掛けることが大切であるということだった。家族と一言でいっても様々な形がありそれを理解しようとしなければ利用者やその家族と関係性を築くことが難しくなると学んだ。この実習は、私が看護師として働いていくうえで大切なことに気付いたと感じている。貴重な5日間だった。(わかばやしさとみ)

障害者看護学実習



障害者看護学実習での学び

看護4年 茂木 菜月

私は障害者看護学実習を通して障がいを受けたその人の人生の再構築を目指した援助について多くのことを学びました。看護者側から見てその人に必要と考

える援助を提供するだけでなく、その人が今一番必要としている援助は何かを常に考えていくのが看護師の役割であると思えました。そのためにも、その人の「その人らしさ」は何であるのかを、日々のかかわりの中で見つけていくことが大切であると学びました。そして「その人らしさ」を取り戻していくことは、その人の人生の再構築へと繋がっていくのではないかと思います。今回の実習で得た多くの学びを今後の看護に活かしていきたいです。また、看護学生である今、自分が考えたことや感じたこと、自分の視点というものをこれから看護師になっても忘れずに大切にしていきたいです。

(もぎ なつき)

退職者あいらず

療養支援看護学部門
飯塚 麻紀

在職中は、講義、実習、研究等の様々な場面におきまして、多くの皆さまにお世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。現在は看護学の博士後期過程に進学し、3度目の女子大生生活です。暗中模索、悪戦苦闘の日々ですが、幸せなことに学友にも恵まれ、貴重な時間を過ごしています。学生の皆さんや卒業して看護職として活躍されている皆さんも、またどこかで看護について語り合える機会が持てることを楽しみにしています。(いづつか まき)

福島で過ごした宝物の5年間

療養支援看護学部門
星野 聡子

2年という短い間でしたが、初めて教育の仕事に携わり、戸惑いながらも学生の皆さんの一生懸命頑張る姿に励まされながら、患者さんへのケアについて一緒に考えられたことが私にとって宝物です。学生の皆さんと実習施設の皆様とともに、看護を考える素敵な機会をたくさんいただき、育てていただいたという思いです。未熟な私を支えてくださり関わってくださった全ての方に感謝申し上げます。大学院を含めると5年間、生まれ育った福島で本当に貴重な時間をいただきました。ここで学んだことを今後にも生かし日々精進していきたいと思っています。また、福島を離れても自分ができることを考え続けていきたいと思っています。(ほしの さとこ)

退職者

療養支援看護学部門
伊藤 由里子先生

基礎看護学部門
工藤 真由美先生

平成23年度 看護学部卒業生の進路状況

◎ 就職 (県内)

(24.3.31現在)

就職先	市町村	人数
福島県立医科大学附属病院	福島市	21
日本赤十字社 福島赤十字病院	福島市	3
財団法人 脳神経疾患研究所附属 南東北福島病院	福島市	1
福島医療生活協同組合	福島市	1
財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂総合病院	郡山市	5
財団法人 脳神経疾患研究所附属 総合南東北病院	郡山市	2
財団法人 太田総合病院	郡山市	1
財団法人 竹田総合病院	会津若松市	1
独立行政法人労働者健康福祉 福島労災病院	いわき市	1
福島市	福島市	1
喜多方市	喜多方市	1
計		38

◎ 進学 (県内・県外)

進学先	都道府県	人数
山形大学地域教育文化学部 養護教諭特別科	山形県	6
学校法人獨協学園 獨協医科大学助産学専攻	栃木県	1
新潟大学養護教諭特別科	新潟県	1
計		8

卒業見込者	人数
就職	77
県内	38
県外	39
進学	8
その他	4

◎ 就職 (県外)

就職先	都道府県	人数
国立大学法人 東北大学病院	宮城県	2
仙台市	宮城県	1
みやぎ県南中核病院	宮城県	1
宮城県立こども病院	宮城県	1
仙台市立病院	宮城県	1
医療法人 徳洲会 山形徳洲会病院	山形県	1
株式会社 日立製作所 日立総合病院	茨城県	1
学校法人獨協学園 獨協医科大学病院	栃木県	1
国際医療福祉大学病院	栃木県	2
日本赤十字社 足利赤十字病院	栃木県	1
栃木県済生会 宇都宮病院	栃木県	1
日本赤十字社 大田原赤十字病院	栃木県	1
埼玉県立がんセンター	埼玉県	1
埼玉医科大学国際医療センター	埼玉県	1
医療生協さいたま生活協同組合 埼玉協同病院	埼玉県	2
順天堂大学医学部附属 浦安病院	千葉県	1
独立行政法人 国立国際医療研究センター	東京都	1
東邦大学医療センター 大森病院	東京都	1
医療法人社団 明芳会 板橋中央総合病院	東京都	2
聖路加国際病院	東京都	2
国立がん研究センター中央病院	東京都	1
東京大学医学部附属病院	東京都	1
順天堂大学医学部附属 順天堂医院	東京都	2
東京都立駒込病院	東京都	1
国際セラピードッグ協会	東京都	1
国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	神奈川県	4
公立大学 横浜市立大学附属病院	神奈川県	1
新潟大学医学部総合病院	新潟県	1
広島県立広島病院	広島県	1
社会医療法人 かりゆし会 ハートライフ病院	沖縄県	1
計		39

平成23年度 保健師・助産師・看護師国家試験の合格状況

助産師及び保健師国家試験が平成24年2月16日(木曜日)、同17日(金曜日)に、看護師国家試験が同19日(日曜日)にそれぞれ実施された。合格者は、3月26日(月曜日)午後2時に厚生労働省、地方厚生局及び地方厚生支局で発表された。本学受験生の合格率を表に示した。学部の中長期目標に掲げられていた看護師合格率100%を達成できたことは、ひとえに受験生の努力の賜物であると、その栄誉を讃えたい。一方、全国平均を上回っているものの、5人の不合格者が出た保健師国家試験は今後課題を残す結果となった。本格的な高齢者社会の到来を前に、保健師教育をさらに充実させる必要がある。

文責:本多たかし(学生生活委員長)

■ 保健師

	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度
受験者(人)	89	91	91	83	89
合格者(人)	84	88	84	82	87
合格率(%)	94.4	96.7	92.3	98.8	97.8
全国合格率(%)	89.2	89.7	87.8	97.7	91.1

■ 助産師

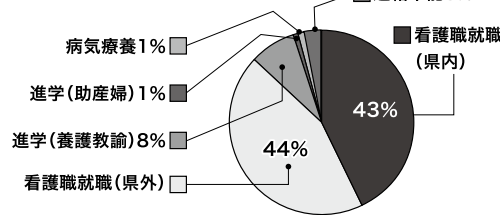
	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度
受験者(人)	5	7	6	6	4
合格者(人)	5	7	5	6	4
合格率(%)	100.0	100.0	83.3	100.0	100.0
全国合格率(%)	96.0	98.2	83.2	99.9	98.1

■ 看護師

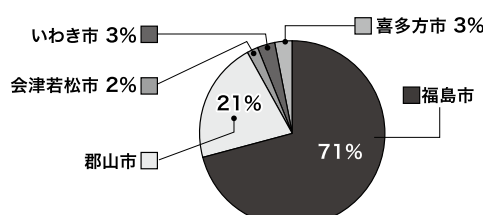
	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度
受験者(人)	82	86	82	77	80
合格者(人)	82	85	81	76	79
合格率(%)	100.0	98.8	98.8	98.7	98.8
全国合格率(%)	95.1	96.4	93.9	89.9	90.3

平成23年度 卒業生の進路状況

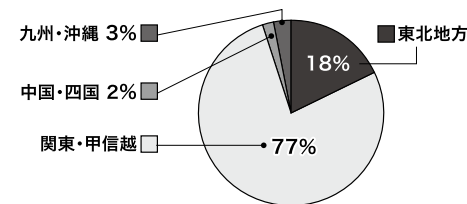
■ 平成23年度卒業生の進路



■ 平成23年度卒業生の県内就職先



■ 平成23年度卒業生の県外就職先



平成23年度の卒業生は87%が看護職に就き、内訳は福島県内と県外とでほぼ同数だった。就職しなかった者では養護教諭を志望する卒業生が目立ち、全員が県外教育機関への進学を希望していた。

県内の就職先としては圧倒的に福島市が多いが、本学附属病院への就職者が21名いたからである。前年度より減少したが、浜通り・会津地方への就職とともに増加を期待したい。県外就職先としては相変わらず東京が多いが、報酬や都会への憧れではなく、設備や卒業後の教育の違いが理由だと、何人かの卒業生が答えてくれた。

震災復興が叫ばれる今、県内就職者が一人でも増えるように努力していきたい。

文責:本多たかし(学生生活委員長)

編集後記

疫学のススミ。賢者は歴史に学び、愚者は経験に学ぶという諺がある。人が経験する時間はせいぜい100年。歴史は既に数千年。どんなえらい学者が自分の経験をいくら丁寧な記述をしても人類が歩んだ数千年の歴史にはかなわない。バイアスは時間が取り除いてくれる。歴史は最も優秀な疫学者がもしれない。

歴史に学ばず、自然の驚異を軽んじ、たった十数秒の時間、十数メートルの距離や高さ等が人々の命運を分けた。

ほんの少しの運の良さによって被害から逃れた人々には「復興によって歴史を作る」という宿命的責任が科せられている。

やっと復興の息吹が見え始めた今、大きな宿命と期待を背負った新入生達がヒポクラテスの疫学的教えに従って福島市の未来を担い、日本の歴史をより好く書き換えてくれることを祈る。

(はやし まさゆき)

◆ 編集委員 ◆

本多たかし、林 正幸
川島 理恵、有永 洋子
根本 紀子、鈴木 学爾
濱尾 早苗、高瀬 佳苗
福島 直美、池田真由美
須藤 久美